

室蘭のオンリーワンを目指して

NPO(民間非営利団体)シリーズ 9



再生活動により市民が憩える場となった知利別川

川をきれいにと下水道についても勉強中



河川環境センター 知利別川を愛する会



川と人が触れ合う
憩いの場所づくりを

河川環境センター
知利別川を愛する会理事長

たかはし ひろこ
高橋 浩子さん

知利別川。西胆振を代表する商業地区の中島町を流れる全長約7キロメートルの川を、市民の憩いの場にして再生活動に取り組み「河川環境センター知利別川を愛する会」。昨年9月にNPO法人を取得。現在、20歳代から80歳代の約50人の会員で、知利別川を室蘭のオンリーワンの水辺にしようと活動している。

中島町は昭和50年代の相次ぐ大型店の進出により都市化する一方で、潤いのある街並みづくりが注目を浴びだした。そこで、中島地区の中心を流れる知利別川を「子供が手で触れられ、遊べる川」「安全で親しみのある川」にしようと町会や商業者などにも協力を呼びかけ、昭和58年に高橋さんたちが会を発足。自然と触れ合う空間づくりにしようと活動していく中で、賛同する人も増えて

いった。

平成2年には、道内に34本ある2級河川へ昇格。また、同年には国のふるさとの川モデル事業の指定を受けたことで、川周辺に樹木が植栽され、遊歩道をバリアフリーにするなどの改修工事が行われて、生まれ変わった。

地域のシンボルとしての景観づくりが進むとともに、美しい川に多くの市民に足を運んでもらう取り組みも会員たちによって行われている。ごみ拾いのほか、知利別川をみんなで見守り、身近にある川から意外な発見をもらう取り組みも実施。また、平成8年完成のらん蘭橋では、町会や市民有志たちによって、らん蘭橋まつりなどの多彩なイベントが実施され、地域の財産である川を大切にしようと再生活動を続けている。

知利別川はもともと自然の川で、子供たちはドジョウやザリガニとりをするなど、いつも人が集まる川でした。市街化されてから、魚人も離れ、洪水などの問題もありました。これらの問題の改善と環境保全、そして昔のように子供からお年寄りまで、みんなが川に触れられ、憩いの場として集える場所に再生するための活動を22年間続けています。現在は改修も進み、川に魚も戻りつつあります。今後も環境保全とともに、川と人とが触れ合えるイベントなども開催していきますので、興味のある人、ボランティアなど、何か初めてみたいと思っている人も、ぜひ、一緒に活動してみませんか。

NPO法人
河川環境センター 知利別川を愛する会
事務局 中島町1-16-16 五番街ビル1階
☎・ファクス 43 1239
電子メールアドレス
kasenkankyo@hotmail.com

となりまちホットライン

伊達市のお知らせ

おじさん・おばさんバンド「どさコン」へお越しください



第6回どさんこミドルエージバンドコンテストを開催します。パワーあふれるおじさん・おばさんバンドの祭典、どさコンに家族そろってお越しください。
日時 2月27日(日) 開場12時30分、開演13時
会場 だて歴史の杜カルチャーセンター
入場料 無料(カルチャーセンター窓口で配布する整理券が必要)
《詳細》伊達メセナ協会 ☎0142 22 1 5 1 5

登別市のお知らせ

カルルス温泉冬まつりに家族で参加しませんか



スキー場を使ったたくさんのゲームを楽しんだあと、疲れた体をカルルスの名湯でいやしませんか。
開催日 3月6日(日)
時間と内容 10時~雪中みかん拾い、10時30分~親子ボブスレー大会(先着50組、受け付け9時45分から)、11時~ストライクワン、13時30分~オロフレ雪原宝探し、14時~雪上もちまき
会場 サンライバスキー場
《詳細》登別観光協会 ☎84 3 3 1 1



人の動き (12月末現在) は前月比

- ・人口 100,297人 (-44人)
- ・男性 48,286人 (-29人)
- ・女性 52,011人 (-15人)
- ・世帯 47,757世帯 (+5世帯)

室蘭市
ホームページアドレス
<http://www.city.muroran.hokkaido.jp/>